

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【日浦小学校】

<第1～6学年：稲作体験>

毎年、中学生と共に、代かきから稲刈りまで一連の農作業を、校務員や地域の方など、農業経験者の指導を受けて実施している。中でも、低学年が一番苦勞する作業が脱穀である。今年度も、学校田で収穫した稲を、昔ながらの機械を使って脱穀した。まずは、足踏脱穀機で粃(もみ)を採り、次に唐箕(とうみ)で実の詰まった重いもみを分別した。最後は、採りきれなかった粃を手作業で採っていた。体験活動を行うことで、児童は、農業への理解を深め、生産者をはじめ様々な人々の苦勞や努力に自分たちの食生活が支えられていることを実感した。収穫した米は、「日浦っ子米」と名付け、家庭に持ち帰るだけでなく、給食に出してもらったり、お世話になっている方々や団体に贈ったりした。また、12月には、地域のお年寄りと正月用のしめ縄を作り、世代を超えた交流を深めた。



<第1～6学年：日浦小中学校駅伝競走大会>

日浦の冬の風物詩として受け継がれてきた行事で、体力の向上だけでなく、連帯意識を高めたり、地域と学校とのつながりを深めたりすることを目的としている。大会に向けて、小中合同の練習「ひうら体育」を行ったことで、生徒や高学年児童の自己有用感やリーダーシップを伸ばし、児童生徒同士の絆を深めることができた。

大会当日は、興居島中学校チーム、地域・保護者チームを迎えて、8チームが、日浦路を力一杯走った。大会前のコース整備や沿道の温かな声援などからは、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動であることが感じられた。今後も、「学校を核とした地域づくり」を推進することで、地域の創生につなげていきたい。

